
東方の二次作的な何かin八雲家

mameton

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方の二次作的な何かin八雲家

【Nコード】

N24020

【作者名】

m a m e t o n

【あらすじ】

あらすじ？

そんなモノ考えとらん！！

たぶん、藍と橙がじゃれて、そこに紫も介入する
みたいな流れになると思っただけです。

八雲×橙（前書き）

キャラ崩壊注意。

これより先は文脈が乱れており大変危険です。

八雲×橙

八雲宅

藍が炊事をしています。

時間はすでに夕食どき。どっぷり日がつかっています。

「ふう…ご飯は待つだけ。次はおかずですね」

藍が独り言を呟きながらがさがさと近くの袋を漁ります。

「確かココに玉葱があつたはず…」

「ごそごそ、がさがさ。」

ジャガイモ、サツマイモ、サトイモ…丸い感触が藍の手に触ります。すると、不意に藍の指先に不慣れな感触が。

「…?…なんだこれ？」

弄ってみると、どうやらいくつもあるようです。

藍は一息にすべて驚掴み。

それを袋から出してみると…

「…うわっ、何でこんなところにマタタビが…」

小ぶりのマタタビがいくつも藍の手に握られています。

「さては橙だな…まつたく…」

猫のように侵入し、猫のように去る。それこそ橙である。

数十分後

台所の空間がぱかっとなり裂け裂けたかと思うと、

そこから白い手袋をした手が出てきました。

「ただいま〜。はあ、堪能したわ〜」

もちろん紫。おなじみです。

「お帰りなさいませ。随分と早かったですね」

しよくしよく。包丁で玉葱を切りながら答えます。

「あら、今日も玉葱で何か作るの？」

横から除きながら紫がいます。

「ええ。橙の玉葱嫌いを何とか克服させようと思っ

て包丁の音はやがてじゃくじゃくと、小気味よい音に変わります。

「橙はもともと猫でしょう？ムリヤリしても意味ないわよ？」

紫が扇子でぱたぱたと藍を扇ぎます。

「ちよっ…ッ！扇がないでくだッ…けほっけほっ！」

どうやら玉葱の目鼻に染みる成分が藍に染渡った様です。

「んー、喘ぐ藍も可愛いわ」

堪能したのか、またするとスキマに戻っていく紫。

「けほっ…く…く…染みるっ…」

藍涙目（いろんな意味で）

続く玉葱！

キャラ崩壊したらごめん。

え？遅い？

八雲×橙（後書き）

崩壊したら負け。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2402o/>

東方の二次作的な何かin八雲家

2010年10月11日01時30分発行